



(左・上) 玖波中学校美術部で製作された横断幕。(右) 沿道の仲間の応援に力強い走りのできる玖波中の選手。



毎年沿道で選手を応援する自治会連合会の皆さん。

## 茂木さんのユーモアあふれる講演会

アゼリアホール

会場がほぼ満席の中、開催された市民文化講演会。講師は、テレビなどで活躍する脳科学者の茂木健一郎さん。脳科学の見解から、男女の考えや行動の違いをわかりやすく講演した。集まった740人を超える聴衆は、茂木さんのユーモアたっぷりの話を、うなずきながら聞き入っていた。



(上) 会場には多くの人が集まった。(左) 会場からの質問にも気さくに答える茂木さん。



12/21



(左) 1本のたすきに心を込め、次走者につなぐ、小方中の選手。(上) 小方中学校美術部で製作された横断幕。旗を振りながら仲間を応援。

(右) たすきに手をかけ、ラストサポート。(小方中)



(左) 大竹中学校吹奏楽部がさまざまな演奏で、駆け抜ける選手たちを応援。(右・下) 大竹中学校の選手が通るといっそう応援にも熱が入る。



1/12



(右) 最後の力を振り絞り、ゴールを目指す大竹高校の選手。(上) 一致団結した走り、中学生女子の部で3位に輝いた大竹中学校の選手たち。

**力の源は 仲間の声援**  
総合市民会館(スタート・ゴール)  
第63回を迎えた大竹駅伝競走大会。市内外から115チームが参加し、健脚を競った。スタートの号砲と同時に、選手たちは一斉に飛び出し、1本のたすきにそれぞれの思いを込めてつないでいった。  
今年には中学校区ごとに応援横断幕が作られ、地域が一体となって選手たちを応援した。選手もその応援に後押しされながら、力強い走りを見せていた。  
中学女子の部で3位に輝いた大竹中学校。部長の中本優花さんと副部長の田丸りかさんは「目標順位を上回る3位になってとても嬉しいです。沿道の皆さんの声援でタイムが速くなったんだと思います」と笑顔で話してくれた。

※ ゆめタウン大竹店から「大竹市制施行60周年記念第63回大竹駅伝競走大会」の協賛金をいただきました。



(右) 上空に向かって一斉放水。(左) 広島市消防航空隊のヘリコプター。(右) 憧れの消防車に乗って、消防士になりきり。



1/11

## 防災で安心安全なまちへ

晴海臨海公園

日ごろから訓練を行い、まちの安心・安全を守っている消防署員と消防団員。大勢の市民が見守る中、消防署員45人、消防団員217人による消防出初式が行われた。式典のほか、消防団による大竹火消太鼓演奏、一斉放水などが行われ、会場を盛り上げた。

サッカーチームのみんなで見に来ていた野村仰くん(小方小6年)と河野亮汰くん(小方小6年)は「ヘリコプターがかっこよかった!」と間近で行われた一斉放水に目を輝かせていた。会場では、市民団体によるうどんなども配られ、訪れた人々は、おいしそうに食べながら、冷えた体を暖めていた。

## 決意を新たに 大人への第一歩

アゼリアホール

振り袖やスーツを身に付けた新成人、208人が参加し華やかな雰囲気で行われた成人のつどい。新成人が実行委員会を作り企画と進行を行った式は、最後まで盛り上がりみせた。

実行委員長を務めた木元夢菜さんは「準備は大変でしたが、皆に楽しんでほしいという気持ちがあったので頑張れました。時間を有効に使える大人になっていきたい」、実行委員を務めた大橋星希さんは「今日でやっと、20歳になった実感がわきました。今までたくさん両親に支えてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは人に気配りができる大人になっていきたい」と心境と決意を語ってくれた。



(左) 式典で「二十歳の誓い」をした大橋星希さんと松本桃子さん。(下) 思い思いに着飾った新成人が会場を埋めた。

1/13

